

ならやま支部便り

第二百二十三号(3月号) 平成31年3月1日(金)

弥生(およし) March

三日 ひな祭り

六日 啓蟄

十二日 奈良東大寺二月堂お水取り

十八日 彼岸入り

二十一日 春分の日

今月の絵 峯田 苜登



3月のスケジュール

- 一日(金) 苜友会研修 新A3研修 十八時四十五分 西部④4F
- 二日(土) 本部指導局 十時半 仮本部
- 三日(日) 愛連フェイバル あましんアルカイック
- 四日(月) ⑩事務局会議 十八時四十五分 富雄
- 五日(火) まほズクッキング 十三時 道場
- 七日(木) 寒稽古中止
- 八日(金) ⑩研修部 十八時 西部④6F

九日(土) KOKO三重クラス 十二時 サロン

九日(土) 十日(日) 九州地区八十五周年大会

十一日(月) 奈良地区連合会事務局会議 十八時

天理市民④

十四日(木) 西奈良漢詩研修会 西部④

十五日(金) 苜友会研修 新D研修

十八時四十五分 西部④4F

十六日(土) KOKO通信クラス 十四時 道場

二十一日(祝木) 哲友会総会 大阪リバーサイド

ホテル 十一時半

二十三日(土) 東明未来塾本部コース最終日

二十四日(日) 本部青年部大会 四條畷市市民総

合センター 十二時開演

三十一日(日) ⑩段別コンクール 大里④

今月の標語

「向上心の有る無しで苦労は

成長の糧にも不満の種にもなる」

私たちが生きていく中で「苦労した体験」はとても大きな値打ちを持ちます。

苦労を通して能力が高まり、知恵が得られ、精神力が養われ、自分にとつての素晴らしい宝物になり得ます。

しかし、苦労をしたからと言って必ずしもその宝を生かせるとは限りません。

例えば、苦労をただ嫌がり、早く逃れたいとばかり思っている場合は、自分のしている物事から心が離れてしまい、その実態を究められず、そこから知恵などを見出すことはありません。

苦労を生かすためには、そこから何かを掴みたいという積極性が必要です。自分の未熟さを知り、

少しでも向上したいという意欲があれば、苦労こそチャンスと受け止めることができます。

そういつた気持ちでの奮闘努力の中で、苦労の中に喜びを見出し、やり甲斐すら感じていけるはず

です。苦労を自分の人生に大きなプラスとしていけるか、マイナスになってしまうかは、向上心の有る無しにかかっているのです。

今月のお誕生日コーナー



吉田謠苜さん (佐紀)

山本貫苜さん (KOKO水曜)

竹内優芽さん (西田辺)

古川幸子さん (光台)

竹元冷子さん (水仙)

北岡苜優さん (ひまわり)

長野伶苜さん (寿美伶)

宇陀苜逸さん (野口)

北 薫さん (KOKO桜)

多いです！おめでとーございます☆

事務局より

☆役員会 池田黎・北岡・長野・古川・三島・上村・山本

☆苜友会研修 池田黎・北岡・長野

☆総本部吟道大学講座 講師：池田黎

受講：長野・三島

☆◎事務局会議 池田黎・長野

☆まほズクツキング 池田玉・黎・北岡・長野・

山本・他六名

☆奈良ホテル打ち合わせ 池田黎・北岡・長野・

古川・山本

☆役員会 池田黎・北岡・長野・古川・三島・

上村・山本

☆◎研修部 池田黎・北岡・長野

☆八十五周年大会（関東・東海地区）池田黎

☆八十五周年大会（四国地区）池田黎

☆東明未来塾運営委員会 池田

☆◎公益推進委員会 池田

☆哲友会コンクール

指導者級 第六位 長野

準師範の部 入賞 上田

幼年の部（四年～六年生）銀賞 平阪

奨励賞 北奥

☆近畿少壮吟士会総会 池田（会長↓相談役）

各教室より

「関西吟詩吟道大学講座を終えて」 池田葛藜

二月の第一土日、一泊二日でパナソニックリゾー
ト大阪にて、今年も開催されました。

今回の私の担当は、実技講座の中で身体を動かす
での四十分間。

安藤常務が素敵なたイトルを付けてくださったの
で、とっても気に入っていました。

只、時間との勝負でした（笑）

音響を原先生に助けて戴き、少し打ち合わせをさ
せて頂いたのですが、最初から待つて行ったタイ
マーを使うことなく終わってしまいました。

時刻みで、曲も変え、企画していました。

でも、原先生の機転の利いた対応は私を助けてく
ださいました。

時間割を原先生にも伝えていましたので、大体そ
の時間に曲をかけてくださったと思います。

二日目の第一講座、八時半スタート。

声の出にくい方がきつと多いと察していました。

（前日の夜更かし？もあつて？）

私にとつては、絶好のチャンスでした。

最初に声を出していただき、体操をしたのち、ど
のように変わるか？

あと、五分あれば完璧でした（笑）

ということ、中途半端な講座になってしまつて、

ごめんなさい。

ようは、脇を伸ばし、身体をほぐし、心をほぐし

たらきつと喉は開いていい声が出ます。

チャンスがあれば又させてほしいです。



「関東・東海地区大会に参加して」 池田葛藜

総本部の八十五周年記念大会の関東・東海地区の
構成吟に出演の為、十六日から名古屋の太田川駅
の徒歩0分の会場へ出向きました。

今回は全ての地区の構成吟のシナリオは同じもの
配役がかわるといったものです。

この地区へは、本部より指導局の指導部三名、秀
詠グループより二名の参加。あとは地元からキャ

ストがきまりました。

辰己快水先生と「曾我兄弟 松口月城」七本でし
た。

辰己先生にはわざわざ道場までご足労を戴き、素
録音を録らせていただきました。

そして各自練習しながら、一週間前にカラオケB
OXで一時間お稽古して戴き、前日のゲネプロ、

そして本番前の稽古で最終調整。

踊りは正義流の多田正千世・多田正千衣先生。

この写真は終わった直後の写真です。



今回は、初めて草履の忘れ物をしてしまい、Tさ
んにお世話をおかけしました。感謝！です。

帰りは鞆を忘れて帰るし・・・ほんまに・・・
難儀な京子ちゃん。

ほんま、気を付けます。

関東東海地区の役員の方、大変お世話になり
ました。

「四国地区大会に参加して」 池田葛藜

関東・東海地区の一週間後、四国地区大会が開
催されました。

この大会は、ピンチヒッターでの参加となりまし
た。

吟題が「曾我兄弟」でなかったら受けてはいなか
った・・・

今回は奥山紅雫吟士と、初めての連吟でした。

舞は林靈山先生・西村靈洗先生。素晴らしい御衣装で、舞台を盛り上げてくださいました。ありがとうございます。奥山吟士とは、ゲネプロで初めて合われました。そして、各自微調整をして、本番に臨みました。忘れ物もなく、無事に帰宅出来ました。行きかえりのバスはとっても楽しい時間でした。



「歌手ダニエル・ヴィダルの想い出」

KOKO水曜 山本真音

今月は本当に詰まらん話で読む値打ちもないものです。

もう半世紀ぐらい前になるでしょうか。

ふと思いつきました。(歳のせいですね)

フランス人歌手で妖精のようなシルヴィ・バルタンや舌足らずの歌い方に日本人には聞こえたフランス・ギャルという歌手がいました。

因みにウルトラマンのバルタン星人はこのシルヴィ・バルタンにヒントを得たものです。

この少し後にダニエル・ヴィダルというキュートでお人形のように可愛い小柄な愛くるしい女性歌手がいました。

彼女のファンだったので(まだ大変有名という程ではなかったです)ミニコンサートへ行きました。コンサートが終わるとサイン会があると分かっていたので、色紙を持って行っていました。(まあ、

昔も今も変わらんアホでしたね、僕は)

皆はサインを貰って無理ムリ握手を求めています。それが、それにも笑顔で彼女は答えていました。私の番が来ました。

ダニエル・ヴィダルは色紙にサインをして返却してくれようとしたのですが、私の顔を見て微笑み、ヴィダルの「i」をハートの絵に書き換え返してくれて、彼女の方から握手の為に、綺麗な小っちゃな手を出して握手をしてくれました。かつての紅顔の美少年も今や須臾にして鶴髪乱れて糸の如しです。つまらんアホみたいな思い出話でした。

日本楽府で読む日本史

第九関【遣唐使(けんとうし)】

遣唐使。留学生。

臣清川。臣朝衡。

つかいする所は何の命ぞ学ぶことは何の道ぞ

顔有り、能く結ぶ李家の纓。

猶知る頭を回らして出月を望むを。

月の出づる処は即ち日の出づる処。

月光明明として海光濶なり。

大意

遣唐使がいた。留学生がいた。臣清河であり、臣朝衡である。

どのような命令を受けて遣唐使となったのか、何を学ぶべく留学生となったのか。

面目あることに立派に唐朝の官職に就いた。それでもやはり、かえりみて東方の月の出を望まずにはいられなかった君。

月の出るところは、とりもなおさず「日出づる処」日本、君の故国だから。

月の光はしらじらと冴え海は月光にきらめいて限らないその距離……

(引用文献＝渡部昇一「日本史の真髓 頼山陽の『日本楽府』を読む」(プラスα))

頼山陽は留学生としての目的、国家から託された使命を放擲して李王朝(唐)に仕えるとは何事か。

と詰問しているのが3句目と4句目です。しかし「顔有り」を「厚顔にも」ととらえず「面目をほどこして」という称賛の意味とにとつて、唐に仕

えたのを日本人の名誉と考えたのがこの大意です。しかし。渡部先生は詰問調で訳しています。当時日本の最高のエリートを留学生として唐に派遣しているの、皇帝玄宗も清河の礼儀作法の立

派さに厚遇し、秘書監に任じています。ということは、清河は大使として祖国の面目を保った人であったという事です。

一方の仲麻呂の文才は際立っており、李白や王維とも親交があり、帰国の際に王維から送別の詩を贈られています。(長いので省略します)大詩人詩仏から送別の詩を送られるとはまさに日本人として面目躍如たるものがあります。

和歌「天の原」を作りまた、6句目と7句目で祖国に想いをはせるも帰国は出来ませんでした。頼山陽はここで仲麻呂を弁護しています。李白は仲麻呂が海難事故で死んだという噂が伝わった時、

李白は仲麻呂の死を悼んで七言絶句を作っています。これは短いので読み下し文で載せます。

日本の晁卿 帝都を辞し

征帆一片 蓬壺を遶る

明月帰らず 碧海に沈み

白雲愁色 蒼梧に満つ

訳もついでに

日本の晁卿(仲麻呂)は帝都長安に別れを告げ、去り行く一片の帆は東の海にあるという蓬萊の島を巡り行く(はずであった)しかし明月の如き君は帰らず、青海原に沈んでしまった。白い雲は君の死を悲しむかの如く、蒼梧(南シナ海沿岸地方の地名)の海岸の空に満ちている。と
詩仙から追悼の詩を送られたのは仲麻呂だけでしょう。

「まほズクッキングでお世話になっている弥咲さんがモデルに」



寄稿

五十九回目 山本苜邨先生

「なぜ？」がみるみる解ける雑学

エスカレーターの速度が乗客が満載しても落ちないワケ？

エスカレーターは、人が多く乗り過ぎたからといって、スピードが遅くなる事はない。すべての段にギッシリと人が乗ったとしても30m動いてせいぜい1秒以内の遅れがあるかどうかだ。

エスカレーターのモーターは常に同じ速度で回るように出来ており、かかった重さに対して自動的に力を調節するシステムになっている為、重くなったからといって速度が変わる事はないのである。

なぜ火星は赤く見えるのか？

「火星＝赤い星」というイメージを持っている人は多いだろう。ではなぜ、火星は赤く見えるのだろうか。

火星の表面は、地球の玄武岩に似た岩石で覆われている。火山地帯もたくさんあって、タルシル台地と呼ばれる場所には、オリンポス火山という太陽系で最大の火山もある。でもだからといって溶岩のせいで赤い訳ではない。表面が鉄のサビ、つまり鉄の酸化物で覆われているから赤いのだ。かつて火星には豊かな大気と水があり、それが何等かの理由で消滅してしまっただけではないかという説がある。その酸素のあつたことの証として、火星の表面に赤サビが残されているというのだ。

なぜイギリスでは地下鉄を「チューブ」と呼ぶ？

イギリスのロンドンに地下鉄が開通したのは1863年1月のこと。日本の鉄道開通の9年前だ。そんな歴史のあるイギリスの鉄道だが、イギリスは、地下鉄のことを「サブウェイ」ではなく「チューブ」と呼ぶ。イギリスではなぜ「管」を意味するチューブという愛称を使うのだろうか？ その名称は、イギリスの地下鉄の車両や天井が管のように丸いことに由来している。電車自体が丸

いのは、最初に地下に開けられた穴が丸かったからだ。イギリスの地下鉄トンネルは、地中深くをシールド工法(鉄製の巨大な円筒をジャッキで押しながら穴を開けていく方法)で掘られた。当然、この方法で開けられた穴は円形になる。

ロンドンの地下鉄は、この丸い穴を四角く整形せずにそのまま使い、車両のほうをその形に合わせて丸くしたのだ。この丸い地下鉄の形状から「管」を意味する愛称が付いたのだ。

弾丸が鉛で出来ているのもっともな理由

弾丸の主材料には、古来、鉛が使われてきた。鉛が最適とされたのは、安価なわりに比重が重いことと、加工しやすいことが大きな理由である。

銃の威力は、銃身の長さや発射薬の量によって左右される。ただ長い銃身、大量の火薬を使っても弾が軽くては威力が期待出来ない。出来るだけ重い弾を肉体に命中させるため、昔から比重の高い鉛が弾丸として利用されてきたのだ。鉛の比重は鉄よりも重い11.3。その為同じ量であっても運動エネルギーが大きくなり、発射したときの威力は大きくなる。また鉄より融点が低く、どのような形にも加工しやすい。そうした材質が安く調達できるから、誰もが鉛に目を向けたのである。

なぜ吉原では「ありんす言葉」がつかわれた？

「あります」が「ありんす」、「ありました」が「ありんした」、「ありません」が「ありんせん」、「ありませんよ」が「ありんしよ」。映画や歌舞伎で耳にしたことがあるかもしれないが、江戸時代の吉原では、こうした独特の郭言葉が使われていた。

こんな独特の言葉が使われるようになったのは遊女のお国訛りを隠すためだったという説が有力である。吉原の遊女は東北出身者が多く、

また当時は、関東周辺の人達も訛りの強い言葉で話していた。彼女たちに訛り丸出しで話されると、江戸っ子たちは言葉が理解できない。そこで独特の“共通語”がつくられたというわけだ。
また、わざわざ郭言葉をつかい、江戸言葉を使わなかったのは、通のお客の好奇心を刺激する為だったとも言われている。吉原へ通いつめなければ、その言葉を理解できない。お得意さん達に、特殊な世界へ入り込んでいるという非日常的な気分を味わってもらうためにも、独特な言葉がつくられたというのだ。

シニア川柳

*立ちあがり 用事忘れて また座る
*腰よりは 口につけたい 万歩計

今月の生花 菅沼様

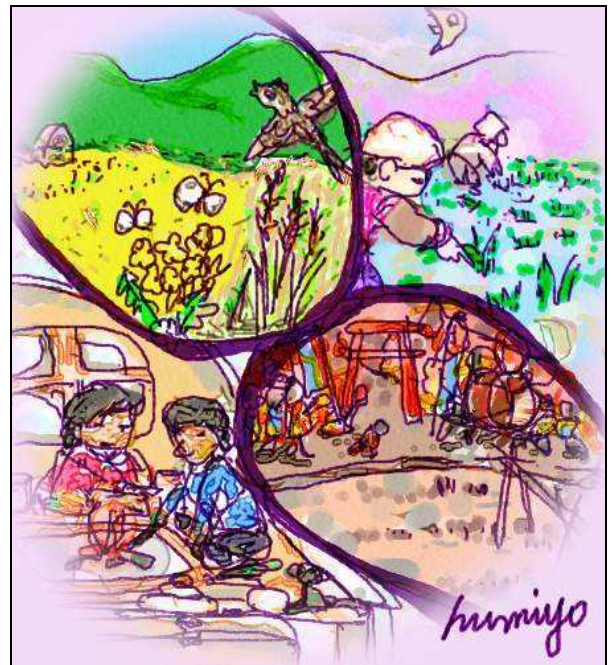
(材料) 桃・白チューリップ・菜の花・シヤガ



今月の曲&絵 syoutarou様&humiyo様

いなかの四季

<http://syoutarou.com/nakanosiki-m.htm>



堀澤 周安 作詞
作曲者 不詳

(1) 道をはさんで 畠一面に

麦は穂が出る 菜は花盛り
眠る蝶々 とび立つひばり
吹くや春風 たもとも軽く
あちらこちらに 桑つむおとめ
日まし日ましに 春蚕も太る
(2) 並ぶ青空 涼しいこえで
歌いながらに うえ行くさなえ
永い夏に日 いっしか暮れて
植える手先に 月影動く
帰る道々 あと見かえれば
葉末葉末に 夜露が光

(3) 二百十日も 事なくすんで
村の祭りの 太鼓がひびく
稲は実がいる 日よりはつづく

刈ってひろげて 日にかわかして
米にこなして 俵につめて
家内そろって 笑顔に笑顔
(4) 松を火に焚く いろりのそばで
夜はよもやま 話はずむ
母が手際の 大根なます
これがいなかの 年越しざかな
たなの餅ひく ねずみの音も
ふけて軒端に 雪降り積る

道を挟んで畠一面に、という歌い出しのメロディが中々印象的でこの最初の「ソランミ ソラン」という節が、一節の4回も出てくる。
この浮き立つような曲調がこの歌の生命で、全国の少年少女を魅了し「せっせっせ遊び」の歌として「茶摘み」と共に使われていた。
美文調の一面と、米にこなして俵につめて・・・というような俗謡調が混じっている軽快な歌詞です。

日本抒情科全集 1 参照

編集後記

寒暖差の厳しい二月が過ぎました。
お変わり無いですか？油断は禁物です。
畑のエンドウ豆も、スクストと大きくなることでしょう。負けないでお互い頑張りましょう 黎☆

(公益社団法人) 関西吟詩文化協会

公認折畳会 ならやま支部

発行責任者 責任講師 池田葛藜

FAX&TEL

0742-33-3496